

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2015年3月定例会議議事録

- ◎ 開催期日：2015年3月19日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆DACs	セントラルスポーツ株式会社	三枝	佳紀
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
		村上	史朗
☆NAUI	株式会社ナウイエンタープライズ	和泉	芳則
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆KD JAPAN	関西潜水連盟	松村	卓也
☆STRAS	水中活動研究所有限公司	岡本	康男
☆オブザーバー	JRDA	有原	義則
	DANジャパン	平川	雅一
	静岡県ダイバーズ協議会	我妻	亨

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① NAUI JAPAN C協新規加盟の件

- 事務局より、NAUI JAPANの加盟について報告があり、出席者に紹介された。

② 「スクーバダイビングの日」記念日設立について

- 安全意識の啓発をすることを目的とし、毎年5月24日を「スクーバダイビングの日」とすることを一般社団法人日本記念日協会に申請し、記念日として正式に登録されたことが事務局より報告された。

③ ダイビング安全対策進捗報告

- JRDA有原氏より、C協3月定例会同日に「レジャーダイビング事故ゼロ推進委員会」キックオフ会議が実施されたことが報告された。
当該キックオフ会議には、消費者庁審議官、経済産業省サービス政策課、JRDA、C協、スクーバ事業共同組合、日本スクーバ協会、DAN JAPAN、社会スポーツセンターが出席し、業界全体問題意識、各団体の現状での取組みなどについて話し合われたとの説明があり、話し合いの結果、業界サイドの質向上を啓発し、業界コンプライアンスを設定し、時代に即応した商業活動を支援することが確認されたとの説明がなされた。
- その上で、目下進行中のC協の安全対策を4月1日までに全面的に実施することが再確認され、当該安全対策の核となる「安全ダイビング確認事項」を最終調整することになった。
- 具体的には、同「安全ダイビング確認事項」の内容をC協加盟各社で再確認し、最終の意見調整を行なった上で、4月1日にはC協加盟全社が各帰属店舗に情報配信することが決められた。

- ④ CMA S依頼事項「高気圧作業安全衛生規則改定セミナー」の件
- 事務局より、表題の「高気圧作業安全衛生規則改定セミナー」がCMA S主催で開催されるとの説明があり、その上でCMA Sから告知協力依頼があったことが報告された。
 - これに対し、出席者全員の承認が得られ、近日中にC協HPで告知することとなった。
- ⑤ マリアナ政府観光局よりサイパンのイベントに関するCカード協議会への協力依頼の件
- DAC S三枝氏より、マリアナ政府観光局主催のサイパンのイベントについて説明があり、その上でマリアナ政府観光局よりC協に対し当該イベントへの協力依頼があったとの説明があった。
 - これに対し、C協として告知他協力をしていくことが決定された。
- ⑥ その他
- DAN JAPNより、DAN JAPAN「ダイビング安全講習会2015」の告知協力依頼があり、出席者全員の承認が得られ、C協HPで告知する事が決められた。

以上